

## [第5回釧路生命倫理フォーラムのご案内]

INVITATION to the Fifth Kushiro Bioethics Forum

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、下記の要領にて第5回釧路生命倫理フォーラムを開催いたしますので御案内申し上げます。なお、プログラムは事情により多少変更される可能性があります。

### 記

- ◆会場：釧路市観光国際交流センター（[www.kushiro-kankou.or.jp/kkc/](http://www.kushiro-kankou.or.jp/kkc/)）
- ◆期間：2018年8月7日（火）～11日（土）
- ◆対象者：生命倫理・医療倫理に興味のある方  
「市民向け」の表示のないセッションもオブザーバーとして参加可能です。
- ◆募集人数：約30名（一つだけの受講も可）市民向け公開シンポジウムは約50名
- ◆参加申込先：釧路市役所（〒085-8505 釧路市黒金町7-5 <http://www.city.kushiro.lg.jp>）  
市民協働推進課 市民協働担当 清水 E-mail: shi-shiminkyoudou@city.kushiro.lg.jp  
TEL 0154-31-4538 FAX 0154-23-5220
- ◆受講料：無料（講師はすべてボランティア）
- ◆主催：釧路生命倫理フォーラム実行委員会 ◆共催：釧路市
- ◆内容についての問い合わせ先：栗屋 剛（釧路生命倫理フォーラム実行委員会委員長、岡山商科大学法  
学部部長・大学院法学研究科長・教授） Tel：090-3377-6800 E-mail: t-awaya@nifty.ne.jp

### ■プログラム Program

●7日（火）午後2時00分～2時05分  
開会挨拶 栗屋剛

●7日（火）午後2時05分～4時50分  
村岡科研「高度先端医療のELSI」及び栗屋科研「手術誘引の研究」の合同研究会  
[先端医療と手術誘引]（司会兼オーガナイザー：村岡潔）

山下登（岡山大学）「先端医療における医師の説明義務—日独判例の比較を通して—」  
村岡潔（佛教大学）「医師の裁量と患者の自己決定」  
打出喜義（小松短期大学）「産婦人科医の視点から手術誘引の動機と目的を分析する」  
栗屋剛（岡山商科大学）「手術誘引研究—札幌医大心臓移植事件を契機として—」  
宍戸圭介（岡山商科大学）「手術誘引に関するケース報告」

●8日（水）午前10時00分～11時30分  
個別報告（司会：栗屋剛）

加藤友佳（岡山商科大学）「税金と正義」

●8日（水）午後2時00分～4時50分  
入澤科研「出自をめぐる倫理問題」及び村岡科研「高度先端医療のELSI」の合同研究会  
[ART(生殖補助医療技術)を用いた新たな「遺伝的繋がり重視の家族」の出現に関する  
ELSI(倫理的、法的、社会的問題)]（司会：入澤仁美）

村岡潔（佛教大学）

「概説：生殖補助医療の新たな利用法(alternative usage of ART)の生命倫理」  
長島史織(立命館大学)「配偶子提供型生殖補助医療における不妊カウンセリング」  
山本克司(修文大学)「日本における性同一性障害と人権」  
入澤仁美(兵庫医科大学)  
「判例から考える、生殖補助医療を利用した家族形成における法的、倫理的問題」

● 9日（木）午前10時00分～11時30分  
個別報告（司会：栗屋剛）

Frank Yeruham Leavitt (Ben-grion University, Israel) "Bioethics and Automobile Racing"

● 9日（木）午後2時00分～4時50分  
中塚科研「認知症と人権」研究会（司会兼オーガナイザー：中塚晶博）

山本克司（修文大学）「認知症高齢者をめぐる不法行為責任の課題と対策」  
栗屋剛（岡山商科大学）「続：超高齢重度認知症寝た切り患者の人工呼吸器や胃瘻を本人  
の同意なく外してよいか」

中塚晶博（東北大学）「倫理原則としての手続き的正義の可能性について」

● 10日（金）午前10時00分～11時30分  
個別報告（司会：栗屋剛）

Tyler L. Jaynes (Utah Valley University, USA)  
"How Artificial Intelligence is Reshaping Our Notion of Humanity: Dialogue of Japanese and  
American Cultures"

● 10日（金）午後2時00分～午後3時00分  
個別報告（司会：山下登）

丸山英二（慶應義塾大学）「わが国の医学研究規制の概要と臨床研究法」  
（AMED 研究公正高度化モデル開発支援事業）

● 10日（金）午後3時30分～午後4時30分  
個別報告（司会：栗屋剛）

藤倉義久（大分大学）「外科修練と医療倫理」

● 11日（土）午前10時～11時30分  
市民向け公開対談（司会兼オーガナイザー：栗屋剛）

佐藤明功（暁善寺副住職）「いのちの行方を聞く～仏教における生死とは～」  
栗屋剛（岡山商科大学）「死の解釈学—人間にとって、自分にとって、死はどのような意  
味を持つのか」

● 11日（土）午後2時00分～4時50分  
市民向け公開シンポジウム「続：老いの生—独居高齢者の生活」  
（船木科研「独居高齢者研究」主催）（司会兼オーガナイザー：船木祝）

船木祝（札幌医科大学）「独居高齢者の生活—個人としての生き方」  
竹内美妃（キャンナス釧路代表・看護師）「高齢者の生活と周囲との関係性—キャンナス  
釧路の訪問看護の事例を通して—」

中塚晶博（東北大学）「心の故郷に暮らす人々～認知症者の幸福についての考察」  
谷藤公紀（ふたば診療所所長）「あなたは誰と、どこで、どう生きていきますか」

● 11日（土）午後4時50分～4時55分  
閉会挨拶 栗屋剛